

原市場の森 通信

第108号
令和6年1月31日
原市場子ども応援団
地域応援コーディネータ
大野 康



原市場の森・紅葉 令和5年12月10日

参加者(敬称略)

1月28日: 高野満, 向澤雅啓, 芦川恵美,
大野弘, 伊東寛信, 番場武臣,
木下博蘊, 西脇拓朗, 大野康

原市場の森の活動 今年度の感想とこれから

1月28日(日)午前8時から10時まで、9名が参加してエリアABの草刈・遊歩道整備、エリアCの草刈・エリアDの間伐2本を行いました。また現場で推進委員会を行い、今年度の事業報告と反省、次年度計画の策定をしました。

3月にまちづくり推進委員会(子ども達と原市場を元気にする事業実行委員会)の支援を受けて行われる植樹会では、桜とミツバツツジを植える予定です。どの場所に何をどう植えるか、2月3月の活動で決定していきます。

ここで、埼玉県川越農林振興センター林業部からの森林ボランティア育成事業補助金の事業報告書を提出します。

ご尽力くださった関係各位に深く感謝申し上げます。



◎今年度の感想

- ・10数年有意義な時を過ごさせていただきました。特に参加者との交流、四季を満喫できました。残念ながら高齢のため十分な成果はあげられなくなってきました。・毎月の第1日曜日が楽しみです。
- ・定期的に持続している地域活動として意義あることと思ひ参加してます。段々ときれいになり気持ちが良いです。
- ・月1ではありますが森の整備にご協力いただき感謝しかありません。ありがとうございます。
- ・会員さんが非常に協力的に参加していただき、地域の散歩コースとして利用されています。他地区から名栗へ飯能道を通る人達にも喜ばれています(特に桜の時期)。
- ・毎月1回の活動により、どんどん整備されていくことを肌で感じています。
- ・活動に参加して2年になります。森に光が射し、新芽を見ると着実に変化してきたこと、楽しみです。
- ・毎月、皆さんが参加してくれて、また山の姿の変化を見届けることができ嬉しいです。

◎「原市場の森」のこれからについて

- ・原市場の森の桜は、毎年見ものになっています。大切に育てていきたいです。・メンバーの増員、若年化。
- ・もう少し人数がいればもっときれいになると思ひます。人員の確保と次世代への引継ぎが重要かと思ひます。若い人には是非参加をお願いしたい。
- ・これからもこの活動が続くことを願っています。・ベンチがいくつかあるといいですね。
- ・自然観察会をしたい。例: 山歩き、花ごよみ、オオムラサキの幼虫探し、野鳥観察。木工をする、伐採木を燃やして遊ぶなど楽しいことが増やせると良い。
- ・30年後を考えて木を植える時に間隔をとる様にしたい。・若い会員の加入が課題です。



エリアD 間伐作業



エリアC・D境界 鹿防護柵の草刈は
手作業で



エリアC 鳥の巣
何の鳥か、どなたか教えて



森の活動
1月28日



今後の予定

2月4日(日)・3月3日(日)

8時から10時まで 森の作業

3月17日(日) 8時から10時まで

桜とツツジの植樹会

多くの方の参加を
お待ちしております!